

平成28年度第6回藤沢市市政運営の総合指針改定委員会会議

日時 2016年7月28日(木)

政策会議終了後

場所 災害対策本部室

日 程

1 開会

2 議題

- (1) 前回会議の開催結果について(資料1)
- (2) 基本方針修正素案・政策課題マトリクス修正素案について(資料2～4)
- (3) 重点方針における重点項目の整理について(資料5)
- (4) 重点方針の構成等について(資料6)
- (5) その他

3 閉会

(事務局 企画政策部企画政策課 内線2175)

平成 28 年度第 5 回市政運営の総合指針改定委員会会議議事概要

1 日時

2016 年 7 月 14 日（木）午前 9 時 25 分～10 時 40 分

2 場所

災害対策本部室

3 議事

(1) 前回会議の開催結果について（資料 1）

確認いただき、次回開催までに修正があればお願いしたい。

（質疑） なし

(2) 基本方針修正素案・政策課題マトリクス修正素案について（資料 2～4）

基本方針については、基本目標ごとに修正点を説明した。マトリクスについては概括を説明し、詳細については資料 4 で確認を依頼した。今後も整理を図っていくので、随時ご意見をいただきたい。市民意見聴取等も進めていくが、一方で課題点については一定抑えていきたい。基本方針については所管部の記載は行わない。改めてになるが、構成の一部であるので、資料上、3 から始まっているのは、1, 2 は説明事項であるため事務局で修正するものである。（事務局）

（質疑）

○ 産み育てやすい環境についての記載はいかがか。（事務局）

- 女性の視点からすれば、女性が「産む道具」のように感じる。産まない子育てができないので、「子育てがしやすい環境」でよいと考える。晩婚化、非婚化も課題として認識している。
- 産科不足、周産期医療等が今後の課題となる場合もある。表現については調整をしていきたいが、合計特殊出生率の向上については触れていきたい。（事務局）
- 重要性の認識と表現の内容については調整をお願いしたい。
- 「子どもたちを守り育む」の目標部分について、文章のつながりとして、地域とのつながりと行政の部分が整理できていない。保育の前に出産等について触れたらいかがか。

- 生活関連サービスの記載についてはいかがか。（事務局）
 - 素案への記載に対しての異論はない。
 - 「業務継続計画の刷新」については、現指針にはないため追加することには異議はないが、長期的な視点としては「刷新」ではなく、「不断の見直し、強化、充実」が適切ではないか。
 - 更に強化していくという視点で追加したものである。見直しを図っていくという意図での「刷新」としたが、表現については「見直し」等にするよう検討していく。
 - PM2.5の注釈を削除する。
 - 性的マイノリティの部分が細かく触れられすぎて、逆に障がい等他の触れるべきものと比較して違和感がある。トーンを合わせるという意味で削除すべきである。
 - 商業拠点の記載を丸めるべき。藤沢駅の記載は不要ではないか。
 - 観光客数は正確に記載すべきではないか。
 - 住環境における国際化、情報化の意図はいかがか。
 - 国際化については多文化共生、情報化についてはIOT、サステイナブルスマートタウンのようなものを意図している。
 - 商店街の「再活性化」ではなく、「一層の活性化」としていただきたい。
 - 「子どもの健康」については基本目標のいずれに位置づけるか。
 - 藤沢型地域包括ケアシステムの構築を踏まえ、健康での区分に含まれる。
 - 基本方針は市が進む方向性であり、全庁で共有すべき事項である。そのために、例えば4ページの記載でいえば、表現の軽重、レベル、まとめ方など、言葉を丁寧に対応していただきたい。まとめの文章については段落を分けても良い。各部長が全部に目を通していただきたい。
- (3) 総合指針の改定に伴う個別計画との整合性の確保について

総合指針の改定に当たり、並行して又は総合指針策定後に見直し等を行う計画については、長期ビジョンを設定する場合は基本目標との整合性を確保いただきたい。

また、重点方針については今後検討を進めていくが、重点施策が個別計画に位置づけられていない、といったことがないように策定いただきたい。重点施策、重点事業候補については、平成29年度予算本要求の段階でお示ししていきたい。地域まちづくり事業についても見直しが行われているところであるので、新規、見直し事業における本課と地域との分担についても留意いただきたい。

(質疑)

なし。

(仮称) 藤沢市市政運営の総合指針 2020 基本方針 (長期的な視点)
修正素案

3 長期的な視点

藤沢市の現状と課題を踏まえ、概ね 20 年先を見据えた「長期的な視点」として、「目指す都市像」と「基本目標」を定めます。

(1) 目指す都市像

藤沢市には、自然、歴史、産業、市民文化等様々な面で強みがあり、市民一人ひとりが、自分の個性にあったライフスタイルや都市の魅力を見つけられる良さがあります。これらは、経済情勢や社会の変化にも柔軟に対応できるということにもつながっています。

こうした藤沢市の特長を生かしながら、市が将来に向け描く都市の姿を「目指す都市像」として位置づけます。

【目指す都市像】

郷土愛あふれる藤沢 ～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～

市民一人ひとりが藤沢市を郷土として心から愛し、生き生きと暮らすことができる都市を目指します。それは、先人たちが積み上げてきた歴史や伝統を誇りに思い、将来に向かって人の和が藤沢市を築き上げていくことであると考えます。

松風と藤の香りに包まれた都市、歴史と文化の薫る都市、産業の栄える都市、安全で暮らしやすい都市…こうした藤沢市の魅力ある都市の姿を大切にしながら理想の市政を進め、あらゆる元気を創り出す都市を築きます。

(2) 基本目標

「目指す都市像」を実現するために 8 つの「基本目標」を位置づけます。この基本目標が相互に連携することにより、バランスのとれた都市の姿を維持し、発展することを目指します。

基本目標は、藤沢市の現状と課題、特性等を踏まえた上で、市の施策、事業

を進めるにあたり，基本となる方向性を示すものとします。

【安全な暮らしを守る】

- 市民生活に甚大な被害を及ぼす地震・津波に対しては，阪神・淡路大震災，東日本大震災，熊本地震を教訓とした対策をより充実させる必要があります。
- 都市型の突発的かつ局地的な豪雨や大型台風の発生等，近年頻発する異常気象に対する風水害対策に取り組む必要があります。
- 手口が巧妙化する振り込め詐欺，高齢者や自転車をめぐる交通事故，情報化社会の進展に伴う個人情報への漏えい等の市民生活における様々な不安要因を軽減する取組が求められています。

危機管理を充実させ，地震・津波災害，風水害，都市災害対策への総合的な取組，消防・救急体制の充実，業務継続への更なる対応を図るとともに，地域と連携した防犯活動や交通安全運動，情報セキュリティの強化等を一層推進することにより，市民の生命と財産を守り，不安がなく，安全・安全な暮らしを実感できる都市を目指します。

<改定の視点>

- 災害について，熊本地震（2016年発災）を追加したこと。
- ゲリラ豪雨を「突発的かつ局地的な豪雨」と改めたこと。
- 避難計画，適切な避難行動，避難行動要支援者対策，減災，避難生活等については総合的に取り組むものとしたこと。
- 食品衛生や食材への不安の視点を加え，「食の安全」を追記したこと。
- 災害対応として，「業務継続（計画）」を追加したこと。

【文化・スポーツを盛んにする】

- 藤沢市には，旧東海道の宿場町，江の島参詣の地としての歴史があり，また，史跡名勝地や歴史的建造物，祭り等多くの有形・無形の文化財があります。これらの歴史や文化，景観は，藤沢市の財産として次代に，しっかりと

保全・継承していく必要があります。

- ライフスタイルの多様化や価値観の変化から、「豊かさ」の尺度が経済的価値から生活の質的価値へと変化してきています。市民の持つ高い文化水準と東京2020オリンピック・セーリング競技大会の開催を背景に、市民自らの文化芸術活動、すべての市民の生涯学習・スポーツ活動を支援することにより、豊かさを実感できる暮らしにつなげていく必要があります。

歴史的、文化的な資源、景観を保全・継承し、市民による文化芸術活動や生涯学習・スポーツ活動等をさらに盛んにすることにより、市民一人ひとりが日頃から文化・スポーツを楽しみ、歴史や文化を大切にし、郷土への誇りや愛着を実感できる都市を目指します。

<改定の視点>

- 本市江の島で開催される東京2020オリンピック・セーリング競技大会について追記したこと。
- 障がい者スポーツの視点から「すべての市民の」と追記したこと。

【豊かな環境を創る】

- 美しい湘南海岸や緑豊かな相模野台地とそこに恵みをもたらす2つの河川と谷戸などの自然環境は、藤沢市の貴重な財産です。都市景観の維持向上や温室効果ガスの低減、減災等の観点からも、これらの豊かな自然の保全・継承に努めていく必要があります。
- 特に、豊かな自然環境と様々な地域の資源を次代に継承するため、環境教育の推進を図るとともに、市民との協働による環境美化、環境保全への取組につなげていく必要があります。
- 市民一人ひとりができる取組として、地域における3R^{*}活動をさらに推

^{*} 3R Reduce (リデュース：発生抑制), Reuse (リユース：再利用), Recycle (リサイクル：再生利用) の頭文字のRをとったもの。まず、ごみの発生量を減らす (Reduce) ことから始めて、次に使えるものは何回も繰り返し使う (Reuse), そして使えなくなったら原材料として再生利用 (Recycle) するという考え方をいいます。

進し、引き続き廃棄物の減量・資源化や最終処分量の削減に努めるとともに、超高齢社会における市民のごみ排出への負担軽減を図る必要があります。

- 安全・安心なエネルギー対策という点から、再生可能エネルギーやクリーンエネルギーへの関心と導入の機運が高まっており、地球温暖化対策、環境負荷の低減を図るためにも、取組の充実が求められています。

環境に対する意識を高め、良好な自然環境や生活環境を保全し、向上させるとともに、循環型社会形成の推進やエネルギーの地産地消と効率的利用を進めることにより、持続的で豊かな環境を実感できる都市を目指します。

<改定の視点>

- 廃棄物処理施設の再整備に伴い、「循環型社会形成の推進」を追記したと。
- 次代へのより良い環境の継承を踏まえ、環境教育の推進、持続可能性、循環型社会の構築に向けた取組の視点を追加したこと。

【子どもたちを守り育む】

- 近年、未婚化や晩婚化、出産年齢の上昇等の様々な要因によって、全国的に少子化が進行し続けています。核家族化の進展や地域とのつながりの希薄化から生じる子育てへの負担や不安等の増大は、少子化の要因の一つとなっていることから、こうした不安などの解消に向けた子育て環境の充実が必要となっています。
- 社会の情勢や環境の変化等から、子どもの貧困も大きな課題となっています。生活支援や経済的支援が必要な子どもたちへの対応策を充実するとともに、教育相談体制や教育環境の整備をはじめとする学校教育活動の充実に加え、学校、教育機関、家庭、地域社会の連携が求められています。
- 教育のICT化をはじめ、学校における教育活動の充実を図り、子どもたちが楽しく学びながら、思考力、判断力、表現力等を豊かにし「生きる力」を一層育んでいく必要があります。

- 不登校，ニート，ひきこもり等，子ども・若者を取り巻く問題が深刻化しており，困難を有する若者の社会参加と自立を支援する必要があります。
- 総合教育会議での協議に基づき，教育の根本として，定めた「ふじさわ教育大綱」をもとに，地域での支えあいや学びあいと，そこで形成されるネットワークを大切にす取組が求められています。

すべての家庭が安心して子育てができる環境や子どもたち自らが「生きる力」を備える環境を整備するとともに，地域全体で子どもたちを見守り，支えあう社会を構築し，健やかな成長を実感できる都市を目指します。

<改定の視点>

- 合計特殊出生率の向上を意識しつつ，子どもたちの誕生から成長するまでの環境づくりを追記したこと。

【健康で安心な暮らしを支える】

- 超高齢社会が進展する中，保健，医療，福祉，介護に対する関心が高まっており，「予防」の視点も踏まえながら健康づくりや健康寿命の延伸に努め，心と体の健康を維持し，地域の自立した生活を送ることへの支援が一層重要となります。
- 「2025年問題」に象徴される社会保障や経済への不安も増大しており，総合的な対策が求められています。
- 日々の生活が安心して続けられるよう，「藤沢型地域包括ケアシステム」による地域で支えあう福祉の仕組みづくりと充実した生活支援サービスの提供を進める必要があります。
- 市民の安心を確保するため，市民病院においては，かかりつけ医と連携を図りながら，救急医療をはじめ，専門的で高度な医療を提供できる体制が求められています。
- 障がいの有無にかかわらず，個人として主体性が尊重され，地域で自立した暮らしができるよう，必要な人に必要なサービスや支援を提供できる体制

づくりが求められています。

住み慣れた地域で、生涯を通じて健康で、安心して暮らし続けられるよう、きめ細かな保健、医療、福祉、介護をさらに充実し、健康を増進することにより、健やかで安心な暮らしが実感できる都市を目指します。

<改定の視点>

- 超高齢化の進展と住み慣れた地域での尊厳ある生活の持続的な確保の視点から、「2025年問題」「藤沢型地域包括ケアシステム」について追記したこと。
- 障がい者差別解消法の施行に伴い、「障がいがあっても」を「障がいの有無などに関わらず」に修正したこと。

【地域経済を循環させる】

- 藤沢市は、これまでの企業誘致の取組や地域に根ざした企業活動等により、活発な地域経済を育む基盤があります。一方で、経済のグローバル化による企業の海外移転等が進む状況を踏まえ、地域経済の活力を維持し、雇用を確保するため、成長産業分野や新産業創出への先駆的かつ先導的な支援、中小企業に対する経営支援等を積極的に進める必要があります。
- 地域の消費経済の更なる活性化の基盤として、また超高齢社会における地域での暮らしを支える基盤として、生活関連サービスの充実や商店街の一層の振興が重要となります。
- 湘南の中心商業地として発展し続けるため、藤沢駅周辺等の商業機能の強化が求められています。
- 食の安全と安心を高め、生産者と消費者の懸け橋となる地産地消、6次産業化を推進し、厳しい経営環境にある都市農業と水産業を守り育てる必要があります。
- 我が国有数の景勝地である「江の島」を中心とした観光産業は、市内の基幹産業の一つとして成長し、年間観光客数は1,800万人以上となっています。

す。国内外からの誘客をさらに進め、「選ばれる藤沢市」となることで、観光関連産業を維持、発展させる必要があります。

湘南海岸をはじめ、北部の豊かな自然環境、恵まれた交通基盤等の資源を生かし、商業、工業、農水産業、観光等、様々な産業が一体となって地域経済を循環させることにより、市民が活力と魅力を実感できる都市を目指します。

<改定の視点>

- 超高齢社会における需要と供給体制の変化を見込み、「ロボット産業分野」「生活関連サービス」について追記したこと。
- 地域経済の好循環等の視点から、「6次産業化」を追加したこと。
- 観光客数について時点修正を行ったこと。

【都市基盤を充実する】

- 藤沢市では6つの都市拠点地区への機能集積を図りながら、拠点を結ぶ鉄道、道路等の整備促進による利便性の向上と自然環境との調和の両立を進めてきています。これからも、都市の活力と人口を維持するため、「藤沢駅周辺地区」をはじめとする都市拠点の再整備と更なる活性化に向けた取組が求められています。
- 交通アクセスの向上等の都市基盤の整備にあたっては、環境負荷を低減することや、超高齢社会における移動の円滑化が求められています。
- 高度経済成長期に整備された道路、河川、下水道等の都市基盤施設や公共建築物は、老朽化対策、超高齢社会に対応した機能の充実・強化、規模の適正化等が必要となります。
- 超高齢化、人口減少、国際化、情報化の進展等に対応した住みよい都市の形成の視点から、豊かで安定した住生活環境の確保が求められています。

これまでに設置した都市基盤施設について長寿命化を含めた再整備をさらに進めるとともに、将来にわたって都市の活力を維持するための新たな基盤整備

と土地利用を促進することにより、都市としての優位性を高め、便利で快適な生活を実感できる都市を目指します。

＜改定の視点＞

- 空家対策、団地再生等のニーズを踏まえ、住生活の環境確保について追記したこと。

【市民自治・地域づくりを進める】

- 藤沢市では、「市民集会」にはじまり、「郷土づくり推進会議」に至る先進的な市民の市政参画、市民自治の取組が進められてきました。今後もこれらの経験や実績を生かし、さらに市民との協働による市政運営を一層進めていくことが必要となります。
- 地域では自治会・町内会をはじめとする様々な活動団体によって、市民生活に根ざした取組が積極的に進められています。今後も超高齢化や単身世帯の増加等による地域のコミュニティの希薄化が懸念されていることから、地域を支える担い手を育成し、多様な活動をさらに促進していくことが求められています。
- 市民によるボランティア、市民団体、NPO法人等の活動も盛んに行われ、魅力や特色を生かした地域づくりが展開されている中で、市、市民、団体等の多様な主体が目的や意識等を共有し、マルチパートナーシップのもとに取組をさらに充実させていくことが重要となります。
- 一人ひとりの人権を尊重し、あらゆる人が共同してつくる平和な社会の実現に向けて、市民、地域社会の質的な成熟を目指していく必要があります。

市民の市政参画と市民自治を時代に即した形で発展させ、市民活動と地域づくりをさらに充実させることにより、市民が中心となったまちづくりを実感できる都市を目指します。

<改定の視点>

- 地域づくりの大きな課題である「担い手」の育成について追記したこと。
- マルチパートナーシップによる協働，共生のまちづくりの視点を追加したこと。
- ヘイトスピーチ，性的マイノリティへの対応については，「一人ひとりの人権」に包含するものとしたこと。

新旧対照表

修正素案	現 行
<p>3 長期的な視点</p> <p><u>藤沢市の現状と課題を踏まえ、概ね20年先を見据えた「長期的な視点」として、「目指す都市像」と「基本目標」を定めます。</u></p> <p>(1) <u>目指す都市像</u></p> <p>藤沢市には、自然、歴史、産業、市民文化等様々な面で強みがあり、<u>市民一人ひとりが自分の個性にあったライフスタイルや都市の魅力を見つけられる良さがあります。</u>これらは、経済情勢や社会の変化にも柔軟に対応できるということにもつながっています。</p> <p>こうした藤沢市の<u>特長</u>を生かしながら、市が将来に向け描く都市の姿を「<u>目指す都市像</u>」として位置づけます。</p> <p>【目指す都市像】</p> <p>郷土愛あふれる藤沢 ～松風に人の和うるわし 湘南の元 気都市～</p>	<p>3 長期的な視点</p> <p><u>藤沢市の現状と見通し、特性等を踏まえ、概ね20年先を見越した「長期的な視点」として、「めざす都市像」と「基本目標」を定めます。</u></p> <p>(1) <u>めざす都市像</u></p> <p>藤沢市には、自然、歴史、産業、市民文化等様々な面で強みがあり、<u>市民一人ひとりの個性にあったライフスタイルや都市の魅力を見つけられる良さを持っています。</u>そのことは、経済情勢や社会の変化にも柔軟に対応できるということにもつながっています。</p> <p>こうした藤沢市の<u>特徴</u>を生かしながら、市が将来に向け描く都市の姿として「<u>めざす都市像</u>」を位置づけます。</p> <p>【めざす都市像】</p> <p>郷土愛あふれる藤沢 ～松風に人の和うるわし 湘南の元 気都市～</p>

修正素案	現行
<p>市民一人ひとりが藤沢市を郷土として心から愛し、生き生きと暮らすことができる都市を目指します。それは、先人たちが積み上げてきた歴史や伝統を誇りに思い、将来に向かって人の和が藤沢市を築き上げていくことであると考えます。</p> <p>松風と藤の香りに包まれた都市，歴史と文化の薫る都市，産業の栄える都市，安全で暮らしやすい都市…こうした藤沢市の魅力ある都市の姿を大切にしながら理想の市政を進め，あらゆる元気を創り出す都市を築きます。</p> <p>② 基本目標</p> <p>「<u>目指す都市像</u>」を実現するために8つの「基本目標」を位置づけます。この基本目標が相互に連携することにより，バランスのとれた都市の姿を維持し，発展することを目指します。</p> <p>基本目標は，藤沢市の現状と課題，特性等を踏まえた上で，市の施策，事業を進めるにあたり，基本となる方向性を示すものとします。</p>	<p>市民一人ひとりが藤沢市を郷土として心から愛し、生き生きと暮らすことができる都市を目指します。それは、先人たちが積み上げてきた歴史や伝統を誇りに思い、将来に向かって人の和が藤沢市を築き上げていくことであると考えます。</p> <p>松風と藤の香りに包まれた都市，歴史と文化の薫る都市，産業の栄える都市，安全で暮らしやすい都市…こうした藤沢市の魅力ある都市の姿を大切にしながら理想の市政を進め，あらゆる元気を創り出す都市を築きます。</p> <p>② 基本目標</p> <p>「<u>めざす都市像</u>」を実現するために「8つの基本目標」を位置づけます。この基本目標が相互に連携しあうことにより，バランスのとれた都市の姿を維持し，発展することを目指します。</p> <p>基本目標は，藤沢市の現状と見通し，特性等を踏まえた上で，市の施策，事業を進めるにあたり，基本となる方向性を示すものとします。</p>

修正素案	現行
<p>【安全な暮らしを守る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>市民生活に甚大な被害を及ぼす地震・津波に対しては、阪神・淡路大震災，東日本大震災，熊本地震を教訓とした対策をより充実させる必要があります。</u> ○ <u>都市型の突発的かつ局地的な豪雨や大型台風の発生等，近年頻発する異常気象に対する風水害対策に取り組む必要があります。</u> ○ <u>手口が巧妙化する振り込め詐欺，高齢者や自転車をめぐる交通事故，情報化社会の進展に伴う個人情報の漏えい等の市民生活における様々な不安要因を軽減する取組が求められています。</u> <p>危機管理を充実させ，地震・津波災害，風水害，都市災害対策への総合的な取組，消防・救急体制の充実，業務継続への更なる対応を図るとともに，地域と連携した防犯活動や交通安全運動，情報セキュリティの強化等を一層推進することにより，市民の生命と財産を守り，不</p>	<p>【安全な暮らしを守る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>市民生活に甚大な被害を及ぼす地震・津波への対策については，阪神・淡路大震災を教訓とした地震対策，東日本大震災を教訓とした地震・津波対策をより充実させる必要があります。</u> ○ <u>都市型のいわゆるゲリラ豪雨や大型台風の発生等，近年発生する異常気象に対する風水害対策に取り組む必要があります。</u> ○ <u>近年の体感治安の悪化，高齢者や自転車をめぐる交通事故の増加，情報化社会の進展に伴う個人情報の漏えい等，市民生活における様々な不安の要因を減少させる取組が求められています。</u> <p>危機管理を充実させ，地震・津波災害，風水害，都市災害への対策に総合的に取り組み，消防・救急体制の充実を図るとともに，地域と連携した防犯活動や交通安全運動，情報セキュリティの強化等を一層推進していくことで，市民の生命と財産を守り，不安がなく，安全な暮</p>

修正素案	現 行
<p>安がなく、<u>安全・安心</u>な暮らしを実感できる都市を目指します。</p> <p>【文化・スポーツを盛んにする】</p> <p>○ 藤沢市には、<u>旧東海道</u>の宿場町、江の島参詣の地としての歴史があり、また、史跡名勝<u>地</u>や歴史的建造物、祭り等多くの有形・無形の文化財があります。これらの歴史や文化、景観は、藤沢市の財産として<u>次代に、しっかりと保全・継承していく必要があります。</u></p> <p>○ ライフスタイルの多様化や価値観の変化から、「豊かさ」の尺度が経済的価値から生活の質的価値へと変化してきています。<u>市民の持つ高い文化水準と東京2020オリンピック・セーリング競技大会の開催</u>を背景に、市民自らの文化芸術活動、<u>すべての市民の生涯にわたる学習・スポーツ活動を支援することにより、豊かさを実感できる暮らしにつなげていく必要があります。</u></p>	<p>らしを実感できる都市を目指します。</p> <p>【文化・スポーツを盛んにする】</p> <p>○ 藤沢市には、<u>東海道</u>の宿場町、江の島参詣の地としての歴史があり、また、史跡名勝<u>や</u>歴史的建造物、祭り等多くの有形・無形の文化財があります。これらの歴史や文化、景観は、藤沢市の財産として<u>後世に向けて保全・継承していかなければなりません。</u></p> <p>○ ライフスタイルの多様化や価値観の変化から、「豊かさ」の尺度が経済的価値から生活の質的価値へと変化してきています。<u>市民の高い文化水準を背景に、市民自らの文化芸術活動、生涯にわたる学習・スポーツ活動を支援していくことで、豊かさの実感につなげていく必要があります。</u></p>

修正素案	現行
<p>歴史的、文化的な資源、景観を保全・継承し、市民による文化芸術活動や<u>生涯にわたる学習・スポーツ活動</u>等をさらに盛んにすることにより、市民一人ひとりが<u>日頃から</u>文化・スポーツを楽しみ、歴史や文化を大切にし、郷土への誇りや愛着を実感できる都市を目指します。</p> <p>【豊かな環境を創る】</p> <p>○ <u>美しい湘南海岸や緑豊かな相模野台地とそこに恵みをもたらす2つの河川と谷戸などの自然環境</u>は、藤沢市の貴重な財産です。都市景観の維持向上や<u>温室効果ガスの低減、減災等の観点からも、これらの豊かな自然の保全・継承に努めていく必要があります。</u></p> <p>○ <u>特に、豊かな自然環境と様々な地域の資源を次代に継承するため、環境教育の推進を図るとともに、市民との協働による環境美化、環境保全への取組につなげていく必要があります。</u></p>	<p>歴史的、文化的な資源、景観を保全・継承し、市民による文化芸術活動や<u>生涯学習・スポーツ活動</u>等をさらに盛んにすることにより、市民一人ひとりが<u>身近に</u>文化・スポーツを楽しみ、歴史や文化を大切にし、郷土への誇りや愛着を実感できる都市を目指します。</p> <p>【豊かな環境を創る】</p> <p>○ <u>美しい湘南海岸や緑豊かな相模野台地をはじめとする恵まれた自然環境</u>は、藤沢市の貴重な財産です。都市景観の維持向上、<u>温室効果ガスの低減、減災等の観点からも、それらの保全・継承に努めていかなければなりません。</u></p>

修正素案	現 行
<p>○ <u>市民一人ひとりができる取組</u>として、地域における3 R活動をさらに推進し、引き続き廃棄物の減量・資源化や最終処分量の削減に努めるとともに、<u>超高齢社会における市民のごみ排出への負担軽減を図る必要があります。</u></p> <p>○ <u>安全・安心なエネルギー対策</u>という点から、再生可能エネルギーやクリーンエネルギーへの関心と導入の機運が高まっており、地球温暖化対策、環境負荷の低減を図るためにも、取組の充実が求められています。</p> <p><u>環境に対する意識を高め、良好な自然環境や生活環境を保全し、向上させるとともに、循環型社会形成の推進</u></p>	<p>○ <u>微小粒子状物質（PM2.5※）による大気汚染をはじめとした新たな環境問題が発生し、また、福島第一原子力発電所事故による放射能に対する不安は、空間線量だけでなく食品の安全性等にも広がりました。これら日常生活への不安に対応していく必要があります。</u></p> <p>○ <u>市民一人ひとりの身近にできる取組</u>として、地域における3 R活動をさらに推進し、引き続き廃棄物の減量・資源化や最終処分量の削減に努めていかなければなりません。</p> <p>○ <u>安全・安心なエネルギー対策</u>という点からも再生可能エネルギーやクリーンエネルギーへの関心と導入の機運が高まっており、地球温暖化対策、環境負荷の低減のためにも、取組の充実が求められています。</p> <p><u>良好な自然環境や生活環境を保全し、向上させるとともに、エネルギーの地産地消や効率的利用を進めること</u></p>

修正素案	現 行
<p>やエネルギーの地産地消と効率的利用を進めることにより、<u>持続的で豊かな環境を実感できる都市を目指します。</u></p> <p>【子どもたちを守り育む】</p> <p>○ <u>近年、未婚化や晩婚化、出産年齢の上昇等の様々な要因によって、全国的に少子化が進行し続けています。核家族化の進展や地域とのつながりの希薄化から生じる子育てへの負担や不安等の増大は、少子化の要因の一つとなっていることから、こうした不安などの解消に向けた子育て環境の充実が必要となっています。</u></p> <p>○ <u>社会の情勢や環境の変化等から、子どもの貧困も大きな課題となっています。生活支援や経済的支援が必要な子どもたちへの対応策を充実するとともに、教育相談体制や教育環境の整備をはじめとする学校教育活動の充実に加え、学校、教育機関、家庭、地域社会の連携が求められています。</u></p>	<p>により、<u>豊かな環境を実感できる都市を目指します。</u></p> <p>【子どもたちを守り育む】</p> <p>○ <u>核家族化の進展や地域とのつながりの希薄化等によって、子育てへの負担や不安、孤立を感じる保護者が増加しており、また、社会情勢や環境の変化等から、子育て支援へのニーズも多様化しています。子どもたちが安心して心身ともに健やかに育つことができるよう、子どもや家庭の状況に応じた支援体制の充実が求められています。</u></p> <p>○ <u>近年、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しており、また、支援を必要とする子どもたちも増加していることから、教育相談体制や教育環境の整備をはじめとする学校教育活動の充実に加え、学校、教育機関、家庭、地域社会の連携が求められています。</u></p>

修正素案	現行
<p>○ <u>教育のICT化をはじめ，学校における教育活動の充実を図り，子どもたちが楽しく学びながら，思考力，判断力，表現力等を豊かにし「生きる力」を一層育んでいく必要があります。</u></p> <p>○ 不登校，ニート，ひきこもり等，子ども・若者を取り巻く問題が深刻化しており，困難を有する若者の社会参加と自立を支援する必要があります。</p> <p>○ <u>総合教育会議での協議に基づき，教育の根本として，定めた「ふじさわ教育大綱」をもとに，地域での支えあいや学びあいと，そこで形成されるネットワークを大切にす</u><u>る取組が求められています。</u></p> <p><u>すべての家庭が安心して子育てができる環境や子どもたち自らが「生きる力」を備える環境を整備するとともに，地域全体で子どもたちを見守り，支えあう社会を構築し，健やかな成長を実感できる都市を目指します。</u></p>	<p>○ <u>学校教育活動の充実を図る中で，子どもたちが楽しく学びながら，思考力，判断力，表現力等を豊かにし「生きる力」を育んでいく必要があります。</u></p> <p>○ 不登校，ニート，ひきこもり等，子ども・若者を取り巻く問題が深刻化しており，困難を有する若者の社会参加と自立を支援していく必要があります。</p> <p><u>保育，教育を充実し，地域全体で子どもたちを見守り，支えあい，安心して子育てができる環境をつくることにより，「次代を担う子どもたちを守り育む地域社会」を構築し，子どもたちの「生きる力」を育み，健やかな成長を実感できる都市を目指します。</u></p>

修正素案	現 行
<p>【健康で安心な暮らしを支える】</p> <p>○ 超高齢社会が<u>進展</u>する中，保健，医療，福祉，介護に対する関心が高まっており，「予防」の視点も踏まえながら健康づくりや健康寿命の延伸に努め，心と体の健康を維持し，地域の自立した生活を送ることへの支援が一層重要となります。</p> <p>○ 「<u>2025年問題</u>」に象徴される社会保障や経済への不安も増大しており，総合的な対策が求められています。</p> <p>○ 日々の生活が安心して続けられるよう，「<u>藤沢型地域包括ケアシステム</u>」による地域で支えあう福祉の仕組みづくりと充実した<u>生活支援サービス</u>の提供を進める必要があります。</p> <p>○ 市民の安心を確保するため，<u>市民病院</u>においては，かかりつけ医と連携を図りながら，<u>救急医療</u>をはじめ，専門的で高度な医療を提供できる体制が求められています。</p>	<p>【健康で安心な暮らしを支える】</p> <p>○ 超高齢社会が<u>到来</u>する中，保健，医療，福祉，介護に対する関心が高まる一方で，経済的な問題も含めて<u>それらに対する不安</u>も増大しています。「予防」の視点も踏まえながら健康づくり，<u>健康寿命</u>の延伸に努め，心と体の健康を維持し，地域の中で自立した生活を送ることへの支援が一層重要となっています。</p> <p>(○ 日々の生活が安心して続けられるよう，<u>地域</u>で支えあう福祉の仕組みづくりと充実した<u>福祉サービス</u>の提供を進める必要があります。)</p> <p>○ 市民の安心を確保するため，かかりつけ医と連携を図りながら，<u>市民病院</u>における救急医療を含め，<u>地域</u>で専門的で高度な医療を提供できる体制が求められています。</p>

修正素案	現 行
<p>ます。</p> <p>○ <u>障がいの有無にかかわらず</u>，個人として主体性が尊重され，地域で自立した暮らしができるよう，必要な人に必要なサービスや支援を提供できる体制づくりが求められています。</p> <p>住み慣れた<u>地域</u>で，生涯を通じて健康で，安心して暮らし続けられるよう，きめ細かな保健，医療，福祉，介護をさらに充実し，健康を増進することにより，健やかで安心な暮らしが実感できる都市を目指します。</p> <p>【地域経済を循環させる】</p> <p>○ 藤沢市は，これまでの企業誘致の取組や<u>地域に根ざした企業活動等</u>により，活発な地域経済を育む基盤が</p>	<p>○ 日々の生活が安心して続けられるよう，<u>地域</u>で支えあう福祉の仕組みづくりと充実した<u>福祉サービス</u>の提供を進める必要があります。</p> <p>○ <u>障がいがあっても</u>，個人として主体性が尊重され，地域での自立した暮らしができるよう，必要な人に必要なサービスや支援を提供できる体制づくりが求められています。</p> <p>住み慣れた<u>地域の中で</u>，生涯を通じて健康で，安心して暮らし続けられるよう，きめ細かな保健，医療，福祉，介護をさらに充実し，健康を増進することにより，健やかで安心な暮らしが実感できる都市を目指します。</p> <p>【地域経済を循環させる】</p> <p>○ 藤沢市は，これまでの企業誘致の取組や企業活動等により，活発な地域経済の基盤がありますが，<u>経済のグローバル化</u>による企業の海外移転等の中で，地域経</p>

修正素案	現 行
<p>あります。一方で、経済のグローバル化による企業の海外移転等が進む状況を踏まえ、地域経済の活力を維持し、雇用を確保するため、<u>成長産業分野</u>や新産業創出への<u>先駆的かつ先導的な支援</u>、中小企業に対する経営支援等を<u>積極的に</u>進める必要があります。</p> <p>○ <u>地域の消費経済の更なる活性化の基盤として、また超高齢社会における地域での暮らしを支える基盤として、生活関連サービスの充実や商店街の一層の振興が重要となります。</u></p> <p>○ <u>湘南の中心商業地として発展し続けるため、藤沢駅周辺等の商業機能の強化が求められています。</u></p> <p>○ 食の安全と安心を高め、生産者と消費者の懸け橋となる地産地消、<u>6次産業化</u>を推進し、厳しい経営環境にある都市農業と水産業を守り育てる必要があります。</p> <p>○ 我が国有数の景勝地である「江の島」を中心とした観光産業は、市内の基幹産業の一つとして成長し、年間観光客数は<u>1,800万人以上</u>となっています。国内</p>	<p>済の活力を維持し、雇用を確保するため、新産業の創出や中小企業への経営支援等を進める必要があります。</p> <p>○ 超高齢社会における<u>身近な買い物環境</u>として、商店街の再活性化が重要となります。<u>同時に、湘南の中心商業地として発展し続けるため、藤沢駅周辺等の商業拠点の強化が求められています。</u></p> <p>○ 食の安全性と安心を高め、生産者と消費者の懸け橋となる地産地消を推進し、厳しい経営環境にある都市農業と水産業を守り育てる必要があります。</p> <p>○ 我が国有数の景勝地である「江の島」を中心とした観光産業は、今や市内の基幹産業の一つとして成長し、年間観光客数は<u>1,500万人以上</u>となっていますが、国内外からの誘客をさらに進め、「選ばれる藤沢市」と</p>

修正素案	現 行
<p>外からの誘客をさらに進め、「選ばれる藤沢市」となることで、<u>観光関連産業</u>を維持，発展させる必要があります。</p> <p>湘南海岸をはじめ，<u>北部</u>の豊かな自然環境，恵まれた交通基盤等の資源を生かし，商業，工業，農水産業，観光等，様々な産業が一体となって地域経済を循環させることにより，市民が活力と魅力を実感できる都市を目指します。</p> <p>【都市基盤を充実する】</p> <p>○ 藤沢市では6つの都市拠点地区への機能集積を図りながら，拠点を結ぶ鉄道，道路等の整備促進による利便性の向上と自然環境との調和の両立を進めてきています。<u>これからも</u>，都市の活力と人口を維持するため，「藤沢駅周辺地区」をはじめとする都市拠点の再整備と<u>更なる活性化</u>に向けた取組が求められています。</p>	<p>なることで，産業を維持，発展させる必要があります。</p> <p>湘南海岸に加え，<u>北部</u>の豊かな自然環境，恵まれた交通基盤等の資源を生かし，商業，工業，農水産業，観光等，様々な産業が一体となって地域経済を循環させることにより，市民が活力と魅力を実感できる都市を目指します。</p> <p>【都市基盤を充実する】</p> <p>○ 藤沢市では6つの都市拠点地区への機能集積を図りながら，拠点を結ぶ鉄道，道路等の整備促進による利便性の向上と自然環境との調和の両立を進めてきています。<u>そうした中で</u>，都市の活力と人口を維持するため，「藤沢駅周辺地区」をはじめとする都市拠点の再整備と<u>さらなる充実</u>が必要となっています。</p> <p>○ 交通アクセスの向上等の都市基盤の整備にあたって</p>

修正素案	現行
<p>○ 交通アクセスの向上等の都市基盤の整備にあたっては、<u>環境負荷の低減や、超高齢社会における移動の円滑化</u>が求められています。</p> <p>○ 高度経済成長期に整備された道路，河川，下水道等の都市基盤施設や公共建築物は，<u>老朽化対策</u>，超高齢社会に対応した機能の充実・強化，規模の適正化等が必要となります。</p> <p>○ <u>超高齢化，人口減少，国際化，情報化の進展等に対応した住みよい都市の形成の視点から，豊かで安定した住生活環境の確保</u>が求められています。</p> <p><u>これまでに設置した都市基盤施設について，長寿命化を含めた再整備をさらに進めるとともに，将来にわたって都市の活力を維持するための新たな基盤整備と土地利用を促進することにより，都市としての優位性を高め，便利で快適な生活を実感できる都市を目指します。</u></p>	<p>は，<u>環境負荷を低減することや，超高齢社会を見据えた移動の円滑化</u>が求められています。</p> <p>○ 高度経済成長期に整備された道路，河川，下水道等の都市基盤施設や公共建築物は，<u>老朽化への対策</u>，超高齢社会に対応した機能の強化，規模の適正化等が必要となります。</p> <p><u>都市基盤施設等の長寿命化を含めた再整備を進めるとともに，将来にわたって都市の活力を維持するための土地の活用と新たな基盤整備を進めること</u>で，都市としての優位性を高め，<u>都市をさらに成長，発展させ，便利で快適な生活を実感できる都市を目指します。</u></p>

修正素案	現 行
<p>【市民自治・地域づくりを進める】</p> <p>○ 藤沢市では、「市民集会」にはじまり、「<u>郷土づくり推進会議</u>」に至る先進的な市民の市政参画，市民自治の取組が進められてきました。今後もこれらの経験や実績を生かし，さらに市民との協働による市政運営を<u>一層進めていく</u>ことが必要となります。</p> <p>○ 地域では自治会・町内会をはじめとする様々な活動団体によって，<u>市民生活に根ざした取組</u>が積極的に進められています。今後も<u>超高齢化</u>や単身世帯の増加等による地域のコミュニティの希薄化が懸念されていることから，<u>地域を支える担い手を育成し，多様な活動をさらに促進</u>していくことが求められています。</p> <p>○ 市民によるボランティア，市民団体，NPO法人等の活動も盛んに行われ，魅力や特色を生かした地域づくりが展開されている中で，<u>市</u>，市民，団体等の多様な主体が目的や意識等を共有し，<u>マルチパートナーシップのもとに取組をさらに充実</u>させていくことが重</p>	<p>【市民自治・地域づくりを進める】</p> <p>○ 藤沢市では、「市民集会」にはじまり，「<u>藤沢市郷土づくり推進会議</u>」につながる先進的な市民の市政参画，市民自治の取組が進められてきました。今後もこの経験や実績を生かし，さらに市民との協働による市政運営を<u>進めていく</u>ことが必要となります。</p> <p>○ 地域では自治会・町内会をはじめとする様々な活動団体によって，<u>生活に根ざした取組</u>が積極的に進められています。今後も<u>高齢化</u>や単身世帯の増加等による地域のコミュニティの希薄化が懸念されていることから，<u>地域の活動を維持し，さらに活性化</u>していくことが求められています。</p> <p>○ 市民によるボランティア，市民団体，NPO法人等の活動も盛んに行われ，魅力や特色を生かした地域づくりが展開されている中で，<u>今後は市</u>，市民，団体等の多様な主体が目的や意識等を共有し，<u>ゆるやかな連携のもとで取組を充実</u>させていくことが重要となります。</p>

修正素案	現 行
<p>要となります。</p> <p>○ 一人ひとりの人権を尊重し、<u>あらゆる人が共同してつくる</u>平和な社会の実現に向けて、市民、地域社会の質的な成熟を目指していく必要があります。</p> <p>市民の市政参画と市民自治を時代に即した形で発展させ、市民活動と地域づくりをさらに<u>充実させることにより</u>、市民が中心となったまちづくりを実感できる都市を目指します。</p>	<p>○ 一人ひとりの人権を尊重し、<u>男女が共同してつくる</u>平和な社会の実現に向けて、市民、地域社会の質的な成熟を目指していくことが求められています。</p> <p>市民の市政参画と市民自治を時代に即した形で発展させ、市民活動と地域づくりをさらに<u>元気にすることで</u>、市民が中心となったまちづくりを実感できる都市を目指します。</p>

	オリンピック開催と観光振興のふじさわ	安心安全・子育てサポートふじさわ	健康いきいきサポートふじさわ	文化・芸術、郷土愛育むふじさわ	みんなで目指そう、「住みたい街」ふじさわ
安全な暮らしを守る	江の島周辺の防災対策の推進	空き家対策の推進 防犯カメラの増設支援 防犯・安全のための環境整備	自治会・町内会、自主防災組織の活性化	地域の資産の災害からの保全 復興への備えの充実	災害対策の強化・充実 異常気象(風水害)対策 充実した消防・救急体制の構築
	生涯スポーツの推進	少年の森と周辺地区の再整備 教育のICT化の推進	スポーツを楽しむ北部での拠点の検討	市民ニーズに則した生涯学習環境の整備 市民の文化・芸術活動のサポート 文化ゾーンの再整備	健康と文化の森地区のまちづくりの推進
豊かな環境を創る	河川、海岸環境の保全、継承	環境教育の推進	公園等における身体活動の促進	自然環境の保全	資源循環型焼却施設の整備 食の安全性の向上 エネルギーの地産地消事業の推進
子どもたちを守り育む	JOCパートナー都市協定の締結とアスリート育成 児童生徒の体力増進	放課後児童対策(子どもの居場所の充実) 小児医療費助成の拡充 新たな給付型奨学金の創設 支援教育の充実 子どもの生活・学習支援の充実 待機児童の解消 バックアップふじさわの強化(生活困窮者等の子どもに対する学習支援事業等の充実) 教育のICT化の推進 学校施設の再整備・長寿命化	困難を有する若者への支援の充実	歴史・文化、自然の次代への継承	困難を有する若者への支援の充実 子どもをいじめから守る条例の具現化
	健康で安心な暮らしを支える	身体活動の促進 バリアフリー化の推進	藤沢型地域包括ケアシステムの推進 切れ目のない支援の充実 妊産期からの切れ目のない支援の充実(藤沢版 ネウボラの推進)	藤沢型地域包括ケアシステムの推進 安心できる医療・介護の仕組みづくり 健康寿命日本一の実現 認知症サポートの推進 少子超高齢社会への総合的な取組 生きがいづくり・社会参加の促進による予防支援・健康づくり 介護ロボットの導入支援	生涯活躍機会の創出 藤沢型地域包括ケアシステムの推進
地域経済を循環させる	藤沢ブランドの向上 観光誘客(2,000万人)の実現	女性の就労支援と就労環境の整備 生活関連サービスの振興	高齢者の就労の場の拡大	空き家の利活用	労働会館・藤沢公民館等の再整備の推進 都市農業・水産業の継続的な振興 地域の暮らしを支える基盤としての商店街の活性化 生活支援ロボットの普及啓発
都市基盤を充実する	藤沢駅周辺地区再整備の推進	学校施設の再整備・長寿命化	高齢者の住環境の整備促進	「街なみ継承地区」の再活性化	いずみ野線の延伸に向けたまちづくりの検討 健康と文化の森地区のまちづくりの推進
	片瀬江ノ島駅周辺再整備の推進			文化ゾーンの拠点化	都市マスタープランの改定 立地適正化計画の策定 新たな交通システムの整備検討 都市基盤施設・公共建築物の老朽化対策・長寿命化対策 土地区画整理事業の推進
市民自治・地域づくりを進める	市民参加型オリンピックの実施 生涯活躍機会の創出 県・近隣市との広域連携の推進	藤沢型地域包括ケアシステムの推進 まちのコンシェルジュの新設	社会参加の促進による予防支援・健康づくり	ふるさと納税の取組 平和・人権意識の向上 地域の縁側の整備	自治会及び自主防災組織の活性化 透明度の高い市政運営 健全財政の維持 市民センター・公民館の「頼りになる拠点」としての形成 13地区のまちづくりの推進

※ ゴシック体(太字)は、「2025年問題に伴う課題の概括(包括的課題)」に関連するものです。
 ※ JOCパートナー都市協定:自治体のスポーツ施設をトップアスリートの選手強化に活用し、競技力向上を図ることを目的として日本オリンピック委員会と締結する協定をいいます。
 ※ ネウボラ:フィンランド語で「アドバイスの場」を意味し、出産や子育ての不安や悩みを相談し、支援すること等を指しています。

重点方針における重点項目の整理について

1 基本的な考え方

重点方針は、長期的な視点を踏まえ、緊急かつ重要な施策を位置づけるものとします。今回の重点方針の策定に当たっては、次の事項に留意することとします。

(1) 基本方針との関係性の強化

現指針においては、長期と短期の課題に区分し、喫緊の課題に対応する重点施策を位置づけました。この課題の区分は、総花化を防ぐためには効果的である反面、基本方針との関係性が低くなるため、今回の改定に当たっては、基本方針との関係性を強化します。

(2) 分かりやすい体系化

現指針に示している重点項目や施策構築の視点については簡略化又は資料編の記載等に変更し、分かりやすい体系化を図ります。

(3) 財政状況等を勘案した選定

重点事業及び投資的事業の総額について、財政見通しとの整合を図る必要があること、予算編成手法の見直しにより財政フレームにおける歳入見通しが厳しくなることから、重点施策、重点事業を厳選し、リーディングプロジェクト化を図ります。

2 重点項目の整理

政策課題マトリクスの課題について、長期的な視点を踏まえながら、社会情勢の分析結果や「2025年問題」における概括的課題、市長公約等をもとに、重点施策の構築に当たっての小まとめとして、重点項目とその方向性を整理します。

(1) 安全・安心（重点項目1）

市民の安全な暮らしを守るため、地震、津波、風水害の被害をはじめ、犯罪や交通事故など、市民の生命と財産、生活を脅かすリスクを低減し、地域の強靱化を推進する必要があります。

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック（重点項目2）

地域活性化や自然環境の保全、新たな価値の創出等により市民生活の豊かさを醸成するため、東京2020オリンピック・パラリンピックを好機と捉えた

スポーツ，ボランティア，観光，国際交流等を推進する必要があります。

③ 子育て・少子化（重点項目 3）

次代を担う子どもたちの心身の健康と「生きる力」を育むため，保育，教育，放課後児童の居場所，貧困の連鎖等の課題に対応するよう子育て環境を充実し，少子化に歯止めをかけていく必要があります。

④ 超高齢化（重点項目 4）

すべての市民の健康と生きがい，安心な暮らしを築くため，藤沢型地域包括ケアシステムによる支えあいの地域づくりや在宅医療，在宅介護の充実を進める必要があります。

また，住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らすため，健康寿命日本一を目指し，市民一人ひとりの尊厳ある生活に基づく豊かな長寿社会を構築する必要があります。

⑤ 都市基盤整備（重点項目 5）

住みたい藤沢と魅力ある地域を創造するため，ハード，ソフト両面からの基盤整備を進め，都市の持続性と活力を高める必要があります。特に，都市基盤の長寿命化や更新を進め，老朽化に対応する必要があります。

	オリンピック開催と観光振興のふじさわ	安全・安心・子育てサポートふじさわ	健康いききサポートふじさわ	文化・芸術，郷土愛育むふじさわ	みんなで目指そう「すみたい街」ふじさわ
安全な暮らしを守る	安全・安心				
子どもたちを守り育む	子育て・少子化				都市基盤整備
健康で安心な暮らしを支える	東京2020 オリンピック・パラリンピック	超高齢化			
市民自治・地域づくりを進める					
文化・スポーツを盛んにする					
地域経済を循環させる					
都市基盤を充実する					
豊かな環境を創る					

重点項目

重点方針の構成等について

重点施策の構成等については、現時点では次のとおり想定しています。

今後の重点施策，重点事業の検討における施策数，事業数等の状況に応じて，分類，集約を変更するため，構成，体系等についても柔軟に対応していきます。

1 重点方針の構成

(1) 記載内容

目標，目的，施策等を分かりやすく表現するため，策定プロセスや構築の視点については，必要なものを除き資料集に記載することとします。

改定素案（想定）	現 行
第2章 重点方針	第2章 重点方針
1 目的と構成	1 喫緊に取り組む重点課題とまちづくりテーマ・重点施策
2 <u>重点項目</u>	2 まちづくりテーマ・重点施策構築の考え方 <u>重点項目</u> 施策構築の視点
3 重点施策	3 <u>まちづくりテーマ</u>
4 中期財政見通し	4 重点施策
5 評価	5 取組方針
	6 重点施策の実現に向けた重点事業・長期的に取り組む重要案件

(2) 重点施策素案

重点項目に基づき，計画期間において特に重点的に取り組む施策を示します。事務局素案については次のとおりです。

なお，今後の検討によって施策数，事業数が変化することから，状況に応じて，大柱，中柱等を設定し，重点施策の体系化を図ります。

重点項目 1 安全・安心

- 重点施策 1 災害対策の充実
(事業例：津波避難対策，防災備蓄の増強等)
- 重点施策 2 犯罪・交通事故対策の充実
(事業例：防犯カメラの増設，空き家対策等)

重点項目 2 東京 2020 オリンピック・パラリンピック

- 重点施策 3 市民参加型オリンピックの推進
(事業例：ボランティア，スポーツ，環境，観光事業等)
- 重点施策 4 オリンピックレガシーの創造
(事業例：教育，文化芸術事業等)

重点項目 3 子育て・少子化

- 重点施策 5 子どもたちを育む「場」の充実
(事業例：待機児童対策，放課後児童対策，教育 ICT 化等)
- 重点施策 6 支援が必要な親子へのバックアップの充実
(事業例：給付型奨学金制度の創設，不妊症・不育症対策等)

重点項目 4 超高齢化

- 重点施策 7 藤沢型地域包括ケアシステムの推進
(事業例：認知症予防，介護ロボット，地域の縁側等)
- 重点施策 8 健康寿命日本一に向けた介護予防の促進
(事業例：軽運動，健康診断の促進，受動喫煙防止等)

重点項目 5 都市基盤

- 重点施策 9 都市基盤の再整備・長寿命化対策
(事業例：藤沢駅周辺地区再整備，西北部総合整備等)
- 重点施策 10 社会資本の活性化の推進
(事業例：住宅施策，商店街振興・成長産業支援)
(事業例：地域まちづくり等)

(3) まちづくりテーマの構築

現状では，施策体系の整理を目的としたまちづくりテーマの設定は予定していません。

